

i センタースタッフ研修会開催レポート

||| 実施概要

日時：平成17年6月29日（水）、30日（木）

場所：余市町 ホテル水明閣、余市iセンター

参加人数：1日目研修会46名、懇親会45名（それぞれ関係者14名含む）
2日目研修会21名（関係者11名含む）

本年度第1回目となるiセンタースタッフ研修会が6月29日（水）・30日（木）の2日間、余市町のホテル水明閣で開催されました。参加されたスタッフは、全11iセンターの方々と寿都町さん、京極町さん、古平町さん、そして7月7日にiセンターオープン予定の仁木町の方々です。

しりべしiシステム関連の事業で、地域の方々を対象にした研修会は今年で3年目になりますが、今回のようにインターネット上で更新されていく様子をリアルタイムに見ることができるよう設営されたのは初めての試みです。そのためか、会場の雰囲気も和気藹々としたものになり、参加者にとってより達成感・充実感のある研修会になったのではないのでしょうか。

参加された皆さんお疲れ様でした！

《研修会プログラム》

1日目

1. 地域だより考察
2. ラウンジ
3. 地域だより入力
 - ・リンク設定

2日目

4. 画像編集
 - ・カバー画像
5. 現地視察

||| 実施方法

今回の研修会は、「しりべしiネットの入力フォームの全般と各機能の講習」をテーマに、グループごとに充てられたパソコンを操作しながら実践を兼ねた練習方法で開催されました。1日目は参加者らが1グループ3～4名の9組に分かれ、2日目は、初日より参加人数が少なかったため、各グループ1～2名に技術スタッフがつくスタイルで行われました。いずれも会場に設置されたスクリーンの大画面を見ながら行いました。



会場の様子



小川原部会長よりあいさつ



岩内町渡邊氏より水の紹介

||| 実施内容

〈1日目〉

研修プログラム1. 地域だより考察(13:45~)

最初に、今回の講師を務めた“しりべしiネット”担当の房間氏による進行で、各市町村の“地域だより”の特徴や推奨する投稿の仕方などを考察しました。今回は、投稿内容の考察と共にスタッフ紹介を行ったため、地域だよりをいつも投稿している人の顔が同時にわかり、より親近感がわく自己紹介になりました。



蘭越だよりを投稿している斉藤さん

研修プログラム2. ラウンジの利用(15:15~)

“しりべしiネット”には、ネット上に“ラウンジ”という運営部会構成員や各iセンタースタッフ等ID・パスワード関係者のみが閲覧できるページがあります。関係者の連携強化とそれに伴う観光案内業務の向上などを目的としたページですが、スタッフの方々にはあまり認知されておらず、当日初めて入室したという人が多かったようです。



ラウンジに投稿するための入力風景

ラウンジの利用方法の説明がされた後、一人一人が実際に投稿しながら、画像を一般に公開することができる“資料室”へのアップロード(送信)方法や、“談話室”への書き込みなどを実践しました。



画像のアップロードの練習

談話室では、何か困ったことを相談したり、地域の情報を交換し合う場として、気軽に活用して欲しいと思います。

研修プログラム3. 地域だより入力(14:00~)

次に、ラウンジの資料室に投稿した画像や、他のホームページにリンクさせる方法を練習しました。ホームページをつくるための専門的な用語を打ち込まなくてはならず、地域だよりを今まで投稿したことがなかったスタッフの方にとっては、少し大変だったようですが、技術スタッフに説明を受けながら積極的にチャレンジされていました。



グループ内でも教えてもらいながら自分で実践しました

そして、自分で入力した情報がホームページ上に、瞬間的に更新されているのを確認できると、「わ!できたできた」と歓声があがるなど、会場からは賑やかな声が飛び交っていました。

途中、蘭越町さんから差し入れのおやつをいただきました。蘭越町の皆さんありがとうございました。



岩内チームは余裕の表情

懇親会

研修会終了後の懇親会では、地元ならではの美味しい料理を囲みながら、参加者同志の交流を深めました。

途中、余興で“しりべしiシステム事業”に関するクイズが出題されました。グループごとに、1問正解でミニBOXティッシュが、2問正解すると、後志オリジナル絵ハガキがプレゼントされることになっていましたが、皆さん間違えることなく大正解。唯一、事業初期からのメンバーだけが「プレミアのついたティッシュが欲しい！」とわざと間違えるハプニングもあり、大いに盛り上がりました。



〈2日目〉

研修プログラム4. 画像編集(9:30~)

初日より少ない参加者でしたので、ほぼマンツーマンで技術スタッフから指導を受けるかたちになりました。2日目は、地域だよりのカバー写真を更新するための画像の編集方法として、画像に文字や影をつける機能や、透過処理の方法などを教わりました。編集された画像で、いくつかの地域だよりのカバー写真がその場で更新されました。



マンツーマンで教わりました

研修プログラム5. 現地視察(11:15~)

パソコンの研修が終了後、それぞれ車で余市iセンターへ移動し、現地視察を行いました。現地では、スタッフの今井さんから余市iセンターでの運営の工夫やiセンター内の構成等の説明がありました。(詳細は4頁にて紹介しています)

説明の途中に、お客様が何名か訪れましたが、即座に対応され、お客様も満足して帰られたようです。



余市iセンター外観



パンフレットを入れるためのウォールポケット

||| 実施報告

余市 センター見学会報告

日時：2005年6月30日 11:15～12:00

場所：余市 センター

説明者：今井幸世さん（余市 センタースタッフ）

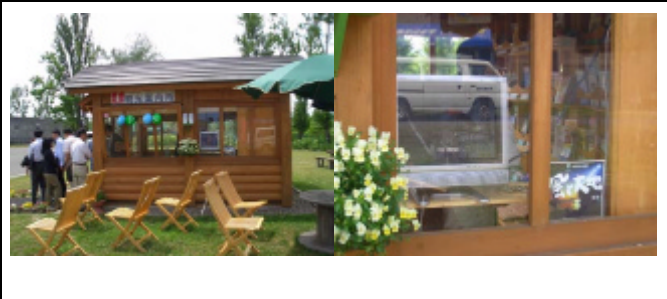
余市 センター運営のポイントはスタッフ間の徹底した情報の共有にあり！

まさにスタッフが一丸となって運営している余市 センター。見学を通して他の センタースタッフも参考にできるどころがいくつもあったのではないのでしょうか。以下に見学内容を紹介していきます。

<p>概要</p> <p>余市 センターに場所を移し、今井スタッフからの説明を受けました。余市 センターでの運営の工夫や センター内の構成、質疑応答等が行われました。参加者からは、運営方法について参考になったという声が聞こえました。</p>	
<p>余市 センターの運営の工夫（情報の共有）</p> <p>「業務日誌（1日分 A4版）」と「利用者状況（一週間分 A4版）」で毎日記録を行っている。それをエクセルで管理（データベース化）して今後の運営に役立てているそうです。（これまで（昨年まで）の同じ時期を利用して、利用者数の予測、シフトの検討、人員確保等を行っている。）</p> <p>スタッフ各自が業務日誌から、お客さんから聞かれたことについて対応策をまとめ、ファイルして、そのファイルをスタッフ同士参照し、聞かれたことに対して応えられるようにしているそうです。</p>	
<p>パンフレットの工夫</p> <p>パンフレットは常時20市町村のものが閲覧できる仕組みになっているそうです。パンフレットが必要な人には保管してあるものを提供する形式をとっているそうです。</p>	
<p>余市 センターのブログの紹介</p> <p><http://ch.kitaguni.tv/u/8625/></p> <p>ブログ名「ハイ！こちら余市iセンターです。」</p> <p>余市iセンターの日常をブログ形式で携帯電話画像とともに綴っていることを紹介されていました。</p>	

余市観光マップについて
 かつての余市観光マップは、もともと3つの団体から提供されていたが、どれもそれぞれの得意分野に特化したり、地図が簡略化されたり総合情報としては十分なものではなかったそうです。
 現在の余市観光マップは3つの団体を1つにまとめたもので、位置を座標でとっているので迷わずに行け、余市の情報が満載のものです。
 このマップは全市町村に配布するのではなく、余市に訪れた方にだけ渡しているそうです。

DVDの放映
 ディスプレイを窓際に置き外に向けて余市を紹介しているDVDを放映しているそうです。
 宇宙記念館に遊びに来た家族連れが、子どもが遊んでいる間に親がゆっくりできるようにしたそうです。

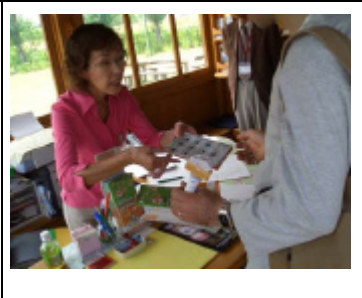


地域の陶芸
 物品販売は出来ないが、地元の陶芸家の作品を展示して関心のある利用者に場所を紹介しているそうです。



<余市 センターの活動の例>

お客さんへの対応 その1
 見学中にも実際に何人かのお客さんが訪れました（写真はネットスタンプラリー参加者）



お客さんへの対応 その2
 センター内は見学中で中に入れなかったため、即座に外のベンチで対応。お客さんは親切な対応と知りたい情報を手に入れ満足して出発していかれました。

